

2026年7月6日

各位

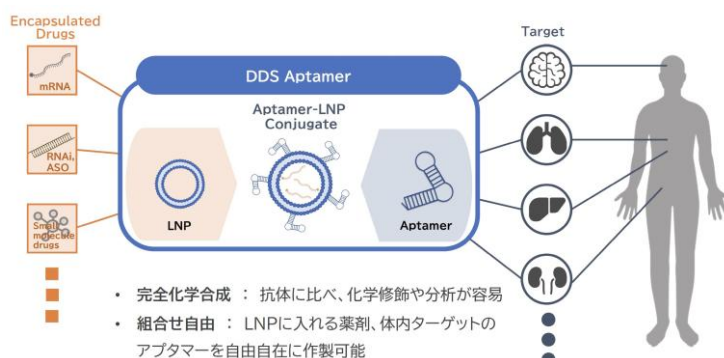
会社名株式会社リボミック  
代表者名代表取締役社長中村義一  
(コード番号:4591東証グロース)  
問合せ先財務経理部長今井利哉  
<https://www.ribomic.com/contact.php>

## 富士フイルム富山化学株式会社との DDS アプタマーを応用した LNP の CDMO サービスに関する業務提携契約締結のお知らせ

株式会社リボミック(東京都港区、代表取締役社長 中村 義一、以下「リボミック」)は富士フイルム富山化学株式会社(東京都中央区、代表取締役社長 佐藤 充宏、以下「富士フイルム富山化学」)と、DDS アプタマーを応用した脂質ナノ粒子(LNP)の CDMO(医薬品開発製造受託)サービスに関する業務提携契約を締結する事を決議し、本日付けで契約を締結しましたので、お知らせいたします。

### 1. 業務提携契約締結の理由及び内容

当社は、標的に対する高い結合能と化学修飾の自由度を特徴とするアプタマーを基盤技術として、医薬品の機能向上に資する薬剤送達技術(Drug Delivery System, DDS)の研究開発を進めるとともに、これらの技術を活用した創薬支援事業を展開しております。特に、DDS アプタマーを脂質ナノ粒子(LNP)の表面に修飾することで、封入した核酸医薬を標的組織へ選択的に送達するアクティブターゲティング(能動的標的化)技術の開発を推進しており、従来のLNP 製剤に付加価値を付与する基盤技術の構築を進めております(下図参照)。



本業務提携を行う富士フイルム富山化学は、mRNA 医薬品をはじめとする核酸医薬品の開発支援に向け、mRNA の合成から LNP 製剤化までを一貫して受託するワンストップの CDMO サービスを提供しています。特に LNP に関する技術に強みを持ち、富士フイルムグループのコア技術である合成技術やナノ分散技術を応用することで、安全性と高い送達効率を両立した

LNP の提供が可能です。こうした強みを背景に、アカデミアから製薬企業まで幅広い顧客に LNP を供給しており、治験薬の製造実績も有しています。

本業務提携においては、当社が DDS アプタマーを非独占的に提供し、富士フィルム富山化学が LNP の製造およびアプタマー修飾を担うことで、アプタマー修飾 LNP を CDMO サービスとして一体的に提供します。本提携により、当社は、DDS アプタマーを活用して標的組織への指向性を付与した高付加価値 LNP の供給体制を構築し、核酸医薬品開発における高度化・多様化する顧客ニーズに対応するとともに、当社プラットフォームの商業的価値の最大化および収益機会の拡大を図ります。

近年、in vivo CAR-T や遺伝子疾患治療の進展に伴い、LNP を特定の組織・細胞へ選択的に送達するニーズが一層高まっております。本提携は、こうした市場ニーズに対応するためのサービス強化の一環として位置付けられるものであり、当社は今後も核酸医薬品分野における事業領域の拡大および提供価値の向上に取り組んでまいります。

## 2. 業務提携の相手先の概要

(1)	名 称	富士フィルム富山化学株式会社	
(2)	所 在 地	東京都中央区京橋 2-14-1 兼松ビルディング	
(3)	代 表 者 の 氏 名	佐藤 充宏	
(4)	事 業 内 容	医薬品および関連機器の研究、開発、製造、販売、輸出、輸入	
(5)	資 本 金	100 百万円	
(6)	設 立 年 月 日	1968 年 12 月 5 日	
(7)	大 株 主 及 び 持 ち 株 比 率	富士フィルム株式会社 100%	
(8)	当 該 企 業 と の 関 係	資 本 関 係	記載すべき資本関係はありません。
		人 的 関 係	記載すべき人的関係はありません。
		取 引 関 係	記載すべき取引関係はありません。
		関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関係当事者には該当しません。

「最近3年間の財政状態及び経営成績」については、相手方の意向を踏まえ、開示を差し控えていただきます。

## 3. 日程

(1)	取締役会決定日	2026年7月6日
(2)	契約締結日	2026年7月6日
(3)	業務提携開始日	2026年7月6日

#### 4. 今後の見通し

本件は、当社の創薬支援事業における中長期的な収益力の強化に寄与するものと考えております。なお、2027年3月期の業績への影響につきましては現在精査中であり、開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以上